

資料

平成27年の福岡県感染症発生動向調査におけるウイルス検出状況

芦塚由紀・吉富秀亮・中村麻子・濱崎光宏・世良暢之

平成27年に感染症発生動向調査事業において採取された検体は、9疾病490件であった。疾病別の検体数はインフルエンザが最も多く、次いで感染性胃腸炎が多かった。採取された490件のうち、ウイルスが検出された検体は327件であった。インフルエンザの検体からはインフルエンザウイルスA/H3N2亜型が、感染性胃腸炎の検体からはノロウイルスGII.3が多く検出された。

[キーワード：感染症発生動向調査、インフルエンザウイルス、ノロウイルス]

1 はじめに

福岡県における感染症発生動向調査事業は、平成11年4月に施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法)に基づき、「感染症発生動向調査事業実施要項」に従い実施されている。当所が担当する定点医療機関は、インフルエンザ定点が3定点、小児科定点が7定点、眼科定点が1定点、基幹定点が11定点である。当所はこれらの定点医療機関から搬入された検体についてウイルス検査を行う。今回は平成27年のウイルス検出状況について概要を報告する。

2 検体及び病原体の分離・検出方法

平成27年に福岡県(福岡市及び北九州市を除く)で採取された検体は9疾病490件であり、検体数は平成26年の445件と比べて増加した。

疾病別及び検体種別検体数を表1に示す。平成27年、26年のいずれも疾病別の検体数はインフルエンザが最も多く、次いで感染性胃腸炎が多かった。検体種別では咽頭ぬぐい液が最も多く、次いで糞便が多かった。平成27年は26年と比べて、インフルエンザ、急性脳炎、無菌性髄膜炎、流行性角結膜炎の検体は減少し、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナの検体が増加した。

病原体検出は主に国立感染症研究所の病原体検出マニュアルに準拠し、各種細胞(FL、LLC-MK2、HEp-2、MDCK、RD18s、RDA、VeroE6等)を用いたウイルス分離及び各種ウイルスを対象としたPCR法による特異遺伝子の検出により行った。

3 疾病別病原体検出状況

平成27年に採取された490件について、ウイルス検出を行った結果を表2に示す。ウイルスが検出された検体は327件であった。このうち、複数のウイルスが検出された検体は8件であった。

表1 疾病別及び検体種別検体数

疾病名	平成26年 検体数	平成27年						
		検体数	検体種別					
			FC	NP	SF	ES	UR	EX
インフルエンザ	231	190	1	187				2
咽頭結膜熱	9	43	3	36		2	1	1
感染性胃腸炎	118	124	117	4				3
手足口病	36	81	17	54				10
ヘルパンギーナ	9	25	1	24				
流行性耳下腺炎	3	3		3				
急性脳炎	7	0						
無菌性髄膜炎	16	11			11			
流行性角結膜炎	9	3				3		
その他の疾患	7	10	3	4				3
計	445	490	142	312	11	5	1	19

\*FC: 糞便, NP: 咽頭ぬぐい液, SF: 髄液, ES: 結膜ぬぐい液, UR: 尿, EX: 水疱内容液

インフルエンザはインフルエンザウイルスA/H3N2亜型が129件、B/山形系統が15件、A/H1pdm09亜型が14件、B型(亜型不明)が1件検出され、平成26年12月から平成27年3月にかけてはA/H3N2亜型が主に検出された。

感染性胃腸炎は、ノロウイルスGII.3が11件(混合感染も含む)と最も多く検出され、次いで、A群ロタウイルスが6件(混合感染も含む)検出された。手足口病は、コクサッキーウイルスA6型が33件と最も多く、次いでコクサッキーウイルスA16型が19件検出された。ヘルパンギーナは、コクサッキーウイルスA10型が9件検出され、その他コクサッキーウイルスA2型、コクサッキーウイルスA6型が検出された。無菌性髄膜炎は、エコーウイルス18型が3件検出された。流行性角結膜炎は、アデノウイルス53型が1件検出された。

文献

福岡県結核・感染症発生動向調査事業資料集平成27年、平成28年3月。

表2 平成27年における福岡県\*の感染症発生动向調査結果

疾病名	採取月	検出ウイルス	検出数	(検体種**検体数)		
インフルエンザ	1~5, 7, 10~12月	インフルエンザウイルスA/H3型	129件	(NP129)		
		インフルエンザウイルスB/山形系統	15件	(NP15)		
		インフルエンザウイルスA/H1pdm09型	14件	(NP14)		
		RSウイルス	2件	(NP2)		
		インフルエンザウイルスB型	1件	(NP1)		
		パラインフルエンザウイルス1型+コロナウイルスNL63	1件	(NP1)		
咽頭結膜熱	3, 5~12月	アデノウイルス4型	5件	(NP5)		
		アデノウイルス2型	4件	(NP3,FC1)		
		エコーウイルス18型	1件	(NP1)		
		コクサッキーウイルスA2型	1件	(NP1)		
		コクサッキーウイルスA4型	1件	(NP1)		
		コクサッキーウイルスA6型	1件	(NP1)		
		コクサッキーウイルスA16型	1件	(NP1)		
		ライノウイルス	1件	(NP1)		
		アデノウイルス2型+ライノウイルス	1件	(NP1)		
		感染性胃腸炎	1~12月	ノロウイルスG II.3	10件	(FC10)
A群ロタウイルス	5件			(FC5)		
エコーウイルス18型	5件			(FC5)		
ノロウイルスG I.3	3件			(FC2,EX1)		
ノロウイルスG II.6	3件			(FC3)		
アデノウイルス1型	3件			(FC2,NP1)		
コクサッキーウイルスA6型	3件			(FC2,NP1)		
コクサッキーウイルスA16型	3件			(FC3)		
アストロウイルス	2件			(FC2)		
アデノウイルス2型	2件			(FC1,NP1)		
エコーウイルス16型	2件			(FC2)		
ライノウイルス	2件			(FC2)		
ノロウイルスG II.4	1件			(FC1)		
ノロウイルスG II.13	1件			(FC1)		
サボウイルス	1件			(FC1)		
コクサッキーウイルスA2型	1件			(FC1)		
コクサッキーウイルスA9型	1件			(FC1)		
エコーウイルス3型	1件			(FC1)		
アデノウイルス5型	1件			(FC1)		
アデノウイルス6型	1件			(FC1)		
アデノウイルス31型	1件			(FC1)		
ノロウイルスG II.3+アデノウイルス31型	1件			(FC1)		
アデノウイルス2型+コクサッキーウイルスA10型	1件			(FC1)		
アデノウイルス2型+ライノウイルス	1件			(FC1)		
ノロウイルスG I.3+ライノウイルス	1件			(FC1)		
ノロウイルスG I.3+A群ロタウイルス+アデノウイルス2型	1件			(FC1)		
手足口病	1~12月			コクサッキーウイルスA6型	33件	(NP17,FC10,EX6)
				コクサッキーウイルスA16型	19件	(NP15,FC3,EX1)
				エコーウイルス18型	4件	(NP3,FC1)
				コクサッキーウイルスA9型	3件	(NP3)
				コクサッキーウイルスA10型	1件	(NP1)
		エンテロウイルスD68型	1件	(NP1)		
		ノロウイルスG I.3	1件	(FC1)		
		アデノウイルス2型+パレコウイルス6型	1件	(NP1)		
ヘルパンギーナ	4~10月	コクサッキーウイルスA10型	9件	(NP8,FC1)		
		コクサッキーウイルスA2型	4件	(NP4)		
		コクサッキーウイルスA6型	4件	(NP4)		
		コクサッキーウイルスA16型	1件	(NP1)		
		ライノウイルス	1件	(NP1)		
流行性耳下腺炎	6, 7月					
無菌性髄膜炎	1,5,6,9,10,12月	エコーウイルス18型	3件	(SF3)		
流行性角結膜炎	5, 8,12月	アデノウイルス53型	1件	(ES1)		
その他の疾患	1,3,4,7,8,11月	エコーウイルス18型	3件	(FC2,NP1)		
		コクサッキーウイルスA6型	2件	(NP1,EX1)		
		コクサッキーウイルスA16型	1件	(NP1)		

陽性検体数 327件

\*福岡市及び北九州市を除いた福岡県内の市町村

\*\*FC: 糞便, NP: 咽頭ぬぐい液, SF: 髄液, ES: 結膜ぬぐい液, UR: 尿, EX: 水疱内容液